

マンゴー（果樹類の登録農薬も使用できる）

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期（日数）	使用回数	炭疽病	灰色病	うどんこ病	軸腐病	かいよ病	枝枯細菌病	ゆめ進
バチスター水	生物農薬	BM2		*a	-		◎		◎			
ボトキラー水	生物農薬	BM2		*b	-		◎					
マスタピース水	生物農薬	-		1	-					◎	◎	
I Cボルドー66DFL	無機	M1		-	-					◎		
フルピカFL	A P	9		14	3		◎					
トリフミン水	DM I	3		7	3			◎				
アミスター10FL	Q o I	11		1	1	◎						
ストロビーDF	Q o I	11		1	3	◎						
スミレックス水	ジカホキシト	2		21	3				◎			
ロブラール水	ジカホキシト	2		7	3		◎					
ジマンダイセン水	有機硫黄	M3		45	2	◎						
ペンコゼブ水	有機硫黄	M3		45	2	◎						
バッチレート塗	有機銅	M1		*c	1							◎
オーソサイド水80	他	M4		7	3	◎						
セイビアーFL20	他	12		1	3	◎						
バルケート水	他	M7		14	2	◎						

*a:発病前～発病初期

*b:開花期～幼果期

*c:剪定時及び病患部削り取り直後

マンゴー

マンゴー（果樹類の登録農薬も使用できる）

薬剤名	系統区分	作用機 構分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 （ 日 数 ）	使 用 回 数	ア ザ ミ ウ マ 類	チ ヤ ノ キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ 類	カ イ ガ ラ ム シ 類	コ ナ カ イ ガ ラ ム シ 類	ス カ シ バ 類	ド ク ガ 類	ハ マ キ ム シ 類	カ ミ キ リ ム シ 類	ハ ダ ニ 類	チ ヤ ノ ホ コ リ ダ ニ 類
スワルスキープラス	天敵生物	-		*f	-		施								
マイコータル	微生物	-		*i	-		施								
バイレーツ粒	微生物	-		*d	-		◎								
スピノエース顆水	スピノシ	5		3	2		◎								
アタックオイル	天然物由来			*a	-									◎	
スピンドロン乳	天然物由来			*b	-									◎	
スプレーオイル	天然物由来			*c	-									◎	
ハーベストオイル	天然物由来			*g	-									◎	
アブロードFL	I G R	16		3	2			幼	幼						◎
カスケード乳	I G R	15		3	2		◎								
ロムダンFL	I G R	18		21	2						◎	◎			
カネマイトFL	殺ダニ	20B		7	1									◎	
サンマイト水	殺ダニ	21A	劇	30	2									◎	◎
バロックFL	殺ダニ	10B		7	2									◎	
ピラニカ水	殺ダニ	21A	劇	14	1									◎	
マイトコーネFL	殺ダニ	20D		7	1									◎	
ディアナWDG	スピノシ	5		1	2		◎								
アクタラ顆溶	ネコチノイト*	4A		14	2		◎	◎							
アドマイヤー顆水	ネコチノイト*	4A	劇	14	2		◎	◎							
アルバリン顆溶	ネコチノイト*	4A		1	3		◎								
スタークル顆溶	ネコチノイト*	4A		7	3		◎	◎							
ダントツ溶	ネコチノイト*	4A		7	2		◎								
ベストガード溶	ネコチノイト*	4A		7	2		◎								
モスピラン顆溶	ネコチノイト*	4A	劇	35	3		◎	◎	◎						
アーデント水	ビレスロイト*	3A		3	2		◎	◎							
トレボン乳	ビレスロイト*	3A		7	3		◎								
ベニコカキリムシエアゾール ロピンフッド	ビレスロイト*	3A		1	5					◎			◎		
ロディー乳	ビレスロイト*	3A	劇	14	2		◎								
キラップFL	フェニルピラゾール	2B		7	2		◎								
スプラサイド乳40	有機リン	1B	劇	45	2		◎								
コテツFL	他	13	劇	14	2		◎								
コルト顆水	他	9B		1	3		◎								
ファインセーブFL	他	34	劇	1	2		◎	◎							

*a:緑枝硬化期～出蕾期 *b:収穫後～幼果期
 *c:10月～3月 *d:発生前～発生初期
 *f:発生直前～発生初期 *g:収穫後～萌芽前
 *i:発生初期
 施:施設栽培 幼:幼虫

マンゴー(果樹類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
炭疽病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 雨よけ栽培を行う。 2. 病果、病葉、病枝を除去する。 3. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター10フロアブル 1000倍 オーソサイド水和剤80 600倍 ジマンダイセン水和剤 800倍 ストロビードライフロアブル 2000倍 	病原菌は多犯性菌で多くの植物に炭疽病を起こす。
灰色かび病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設では過湿に注意する。 2. 罹病した茎葉や果実はただちに処分する。 3. 発生を見たら次の薬剤を散布する。 ロブラール水和剤 1000倍 	
かいよう病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 雨よけ栽培を行う。 2. 病果、病葉、病枝を除去する。 3. 台風や大雨の前後に次の薬剤を予防的に散布する。 I Cボルドー6 6 D (FL) 40～50倍 	病原細菌は強い風雨などにより生じた傷より侵入する。
アザミウマ類		<ul style="list-style-type: none"> ・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アドマイヤー顆粒水和剤 5000～10000倍 	
チャノホコリダニおよびハダニ類		<ul style="list-style-type: none"> ・発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンマイルト水和剤 1000～1500倍 	